

大会宣言

択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島からなる北方四島は、私たちの先人が血と汗で開拓した地として受け継いできたものであり、いまだかつて一度も外国の領土となつたことがない我が国固有の領土である。

北方領土問題をめぐっては、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年からは北方四島との交流等事業が見送られている中、本年7月には、ミシュスチン・ロシア首相が択捉島を訪問するなど、日露双方の立場の隔たりは大きく、戦後76年を迎えた今日においても、いまだ問題解決の道筋は見えない。

政府においては、今後ともロシアとの交渉を強力に進め、一日も早く具体的な成果が得られることを期待する。

北方四島を追われ、一日も早い故郷の祖国復帰を望む元島民の方々の多くが、他界されており、生存されている方も高齢となる中、これ以上、領土問題の解決に歳月を費やすことは許されない。

私たちは、今後とも北方四島の一括返還の実現を目指し、政府の外交交渉を後押ししていくとともに、新たな決意のもとに粘り強く北方領土返還要求運動に取り組み、更なる世論の喚起を図ることを、本大会の名において宣言する。

令和3年8月27日

北方領土返還要求北海道・東北国民大会